

体がなまるといけないので、阿弥陀岳に行こう。どうせならラッセルになる中央稜でと計画しましたが、予想以上の積雪で、中央稜は危険と判断し、御小屋尾根に変更。

ところが、御小屋尾根でも途中でトレースがぶつり無くなり、まさかのラッセル。岩稜帯までの樹林帯の急登のラッセルになった。

トレースがなくなった時、その先に急な雪面が広がり、自分にやれるのか？少し疑問になったが、とりあえず阿弥陀山頂が見える岩稜部まで行ってみようと頑張ることに。ワカンを付け、一步一步を2,3回踏みつけながら、斜面が急なところでは、腰よりも高い雪の壁を崩して歩く。しんどいけれど、気持ちいい。展望台まで来て一休み。何人か後続が追いついたが、誰もワカンを持っていなさそうで自分が行くしかない。さらに先を目指して進む。尾根筋でルートファインディングはあまり必要なく助かったが、夏のイメージとは全く異なるルートを進む。遂に岩稜帯に出た。ここからはワカンがあると危険なので、後続の方に先に行ってもらい、ワカンを外しアイゼンに付け替える。この先も少しラッセルがあったが、後続の方が頑張ってくれた。

そのうち、山頂から下山してくる人がいて、何とか時間内に頂上へ到着できる姿が見えた。ラッセルで疲れた足を動かして何とか頂上へ。こんなに雪のある阿弥陀山頂は初めてだ。山頂は雲があり、風があり寒いので、少し写真を撮ってすぐに下山を開始する。

いいトレーニングになりました。と言いたいところですが、今までに無いくらい疲れた～！

御小屋山 雪が多い

トレースが無くなった

**【コースタイム】**

5:10 舟山十字路

6:50 御小屋山

10:30 阿弥陀岳

12:15 御小屋山

13:10 舟山十字路



展望台からさらにラッセルが続く



山頂の証

